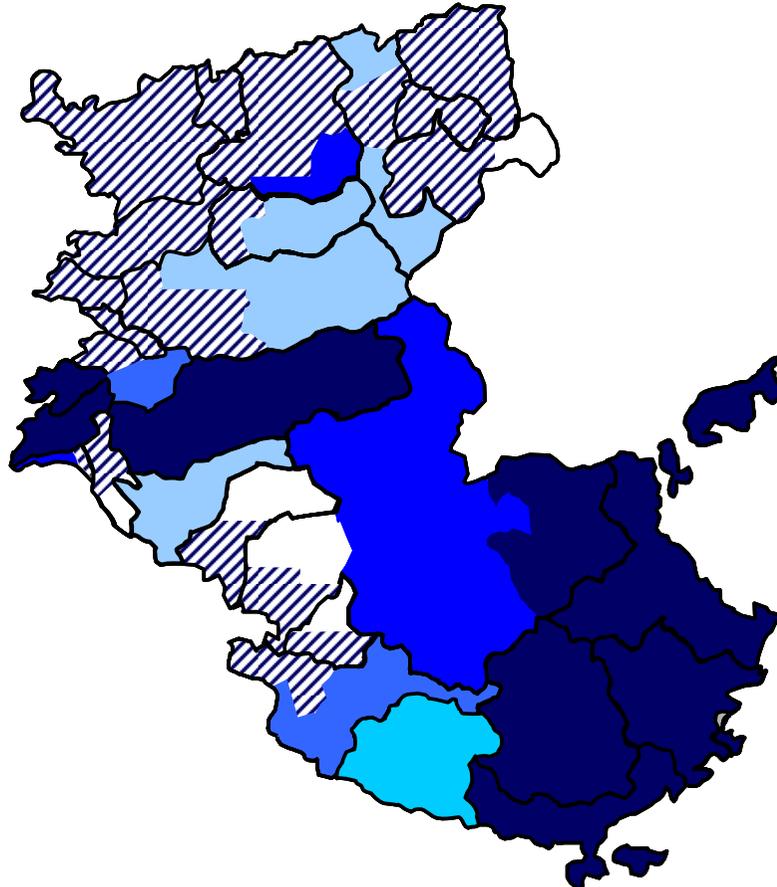


和歌山県におけるブロードバンド基盤整備状況

ブロードバンド基盤整備状況と整備予定



■ 和歌山県では、「和歌山県ブロードバンド基盤整備5カ年計画」を策定し、2010年度末における超高速インターネット※1利用可能世帯率は98.7%※2に達する見込み

※1 FTTHとケーブルインターネットを指し、ADSLは含まない

※2 平成20年3月末現在の数字は95.8%

■ 計画が順調に進めば、遠隔医療実現のための情報通信インフラが県内のほぼ全域で整うこととなる

- 19年度末まで 整備完了エリア
- 20年度末まで 整備完了予定エリア
- 21年度末まで 整備完了予定エリア
- 22年度末まで 整備完了予定エリア

民間事業者の自主進出による基盤整備済みエリア(FTTH方式) H20.2月末現在
(※民間事業者のHP等を基に県が独自に作成したのですが、利用可能エリアとなっても実際には利用できない地域も一部存在します。)

国の補助事業によるケーブルテレビ網整備エリア(自主進出との重複地域含む)

遠隔医療を推進するための課題

1. 遠隔医療システム導入経費等

- ① 遠隔医療システム導入には、相応の経費を要するため、国庫補助制度が創設されているが、導入額に見合う収益の確保が困難である。
- ② 特に、支援医療機関においては、病理医や放射線科医など専門医の確保や保守管理も含めた体制整備のコストを回収する必要がある。

2. 制度上の遠隔医療の対象範囲

- ① 診療報酬上の対象は、放射線画像診断と病理画像診断に限定されている。

3. 情報セキュリティの確保等

- ① 情報のセキュリティや個人情報の保護に対応するための医療機関の負担は大きい。
- ② 遠隔医療に使用する機器については、互換性や標準化が図られていない。
- ③ 特に在宅患者が使用する機器については、操作性や機器管理上の問題が生じることが懸念。